

ジャウィ文書研究会ニューズレター

第9号 2003年4月19日

発行者：ジャウィ文書研究会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

電話 03-3238-3697 Fax 03-3238-3690

上智大学アジア文化研究所 川島緑研究室

e-mail: midori-k@sophia.ac.jp

目次

- I. 研究会予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
- II. ジャウィ文書研究会のメーリングリストとウェブサイト
立ち上げのお知らせ・・・・・・・・青山亨・・・・ p. 1
- III. 南タイ、パタニにおける *Jawi* について
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・西井涼子・・・・ p. 4
- IV. 研究会記録
第16回研究会記録(2003. 1. 26)・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 11

I. 研究会予定

2003年4月19日(土) 上智大学

II. ジャウィ文書研究会のメーリングリストとウェブサイト

立ち上げのお知らせ

青山 亨 (鹿児島大学多島園研究センター)

以前より懸案となっていましたジャウィ文書研究会のメーリングリストとウェブサイトが2003年4月に開始されました。いずれも運営の管理は鹿児島大学の青山亨がおこなっています。研究会の情報発信・情報交換に活用されるよう育てていきたいと思っておりますので、会員の各位の積極的な利用をお願いします。

メーリングリストへの投稿用アドレス：

jawi-study@egroups.co.jp

メーリングリストのウェブサイトの URL :

<http://www.egroups.co.jp/join/jawi-study>

ウェブサイトの URL :

<http://homepage3.nifty.com/tao/jawi-study/>

1 メーリングリストについて

メーリングリストは、無料メーリングリスト Yahoo! e グループを使っています。これは実績のある無料のメーリングリスト・サービスということで選びました。メールの下部に広告が付きまますのでお目触りかもしれませんが、無料サービスを使う代償としてご理解願います。現在、20 名ほどの参加者で始まりましたが、メーリングリストへの参加は一般に開放されています。参加と退会はいつでも自由にできますので、希望される方は以下のアドレスにメールをお送り下さい（本文は空白でけっこうです）。

参加(自動処理):

jawi-study-subscribe@egroups.co.jp

退会(自動処理):

jawi-study-unsubscribe@egroups.co.jp

メーリングリストにはウェブ上で使える以下のような付帯機能があります。

-メッセージ： 過去に流されたメッセージを閲覧できる。

-共有フォルダ： 20MB の共有スペースの利用。研究会の資料ファイルや画像などをメンバーで共有できる。

-予定表： 研究会のスケジュールなどが書きこめる。

-投票： メンバーにアンケートをしたり、出欠の確認に使える。

付帯機能を利用するためには、まず<<http://www.egroups.co.jp/group/jawi-study>>で Yahoo! e グループにユーザー登録をしてください。ユーザー登録は無料です。登録時に設定したユーザ名とパスワードによってログインすることによって、これらの機能を使うことができます。

なお、よくあるミスですが、メーリングリストで流れてきたメールへの返信はメーリングリストの投稿用アドレスに送信されます。「個人的な」内容で返信される場合は、必ずオリジナルの発信者のアドレスを宛先にしてから送信してください。

この他、不明な点があれば、管理人（青山）までご連絡ください。連絡先はこちらです。

jawi-study-owner@egroups.co.jp

2 ウェブサイトについて

ジャウイ文書研究会のウェブサイトの、プロバイダ Nifty のサーバ上にある青山の個人スペースを使用しています。無料ウェブサイトを利用することの可能性も考え

ましたが、サーバの安定性が保証されていない、広告が付いてうるさい（メールの場合と違って視覚的なもの）などの短所があるので、利用は見送りました。

現時点のウェブサイトの内容は、日英2か国語のホームページ、ユニコードによるジャウィの表示一覧、関連リンク集から構成されています。ホームページからはメーリングリスト・ウェブサイトへのリンクが張ってあります。今後、内容を充実させていきますので、アイデアがありましたらお知らせ下さい。PDF形式によって既刊のニューズレターを掲載することも検討中です。

このウェブサイトには以下のような技術的特徴がありますので、ご注意ください。

1) ロゴなど比較的単純な構成の画像に新しいフォーマットである PNG 方式を使用しています。従来、ロゴのような画像には GIF 方式が使われてきましたが、特許による使用制限があるため、今後は使用に制限のない PNG 方式へ移行すると予想されています。もしお使いのブラウザで、ウェブページ上部の緑色の「ジャウィ文書研究会」というヘッダが表示されない場合には、最新版のブラウザに更新してみてください。Internet Explorer の最新版は、Windows 用は<<http://www.microsoft.com/japan/ie/>>、マック用は<<http://www.microsoft.com/japan/mac/download/>>からダウンロードできます。

2) 文字コードにはユニコードを表示するために UTF-8 を使用しています。もしお使いのブラウザで、ウェブページの日本語が文字化けする場合は、文字コードの設定が「自動選択」になっていることを確認してください。もしそれでも文字化けがおこるようなら「UTF-8」に設定してみてください。

3) 「ユニコードによるジャウィの表記」のページでアラビア文字を正しく表示するためには、お使いのパソコンにアラビア文字を含むフォントがインストールされ、かつお使いのブラウザでアラビア文字の表示に対する適切なフォントが設定されている必要があります。Windows 用では Tahoma、MacOSX 用では Lucia Grande などのフォントにアラビア文字が含まれています。詳細は「アラビア文字が表示できるかどうかのテスト」のページ (Alan Wood, <<http://www.alanwood.net/unicode/arabic.html>>) を参照してください。今後、ジャウィ、日本語を含むウェブでの多言語表記の試みを進めていきたいと考えています。

III. 南タイ、パタニにおける *Jawi* について

西井涼子（東京外国語大学）

フレージャーは1956年にパタニで調査し、その調査をもとに1960年に出版された *Rusembilan* の中で *masuk Jawi* 儀礼について述べている (Fraser 1960:201-204)。

彼は *masuk Jawi* という語を (entering Malay-hood) と翻訳しているが、文中における説明では思春期から大人への移行を記しづけているとしている。この儀礼は割礼を含むが、これは宗教的義務というよりも行ったほうがよい行為 (*sunat*) と村人にはみなされているという。しかし、実際には割礼をしていない男性はいないという。実際の割礼の前には割礼をうける男の子は、裕福な場合には象に、そうでなければ男性の肩にのってパレードを行う。この儀礼を受ける男の子の平均年齢は14 - 15歳くらいだが、12歳さらには8歳でも行うことがある。女の子にはこれに相当する儀礼はないという。

フレーザーは1900年出版の Skeat や1951年出版の Winstedt から同様の儀礼の記述を引用している。フレーザーはウィンステッドの「割礼は今日ではイスラムの義務と見なされている」という記述を注記しているが、文中においては、イスラームの到来以前にマレー人の間では行われていた証拠があると述べている。

いずれにしても「*masuk Jawi*」は、割礼を伴った男子の成人儀礼としてフレーザーによって記述されている。では括弧の中の「entering Malay-hood」という翻訳はどのように解釈すればいいのだろうか。

2002年の6月と12月に短期間パタニを訪れた際に *masuk Jawi* の使い方について尋ねてみた。まず、*Jawi* という語の多義性に注意しなければならない。人、言葉、土地をさすときに、それぞれが必ずしも重ならないのである。つまり *Jawi* で人をさす時には、インドネシアのジャワ人をさす。言葉を指すときには、話し言葉ではなくアラビア文字で表記された書き言葉としてのマレー語をさす。よってパタニ方言で話すという *kechek* の目的語といはしては *Jawi* ということはなく、*nayu* という *Melayu* (マレー語) のパタニ方言の変化形のみが可能である。つまり *kechek Jawi* とはいわず *kechek nayu* という。書き言葉としての *bahasa Jawi* (ジャウィ語) という言い方は可能である。さらに、土地の概念としてはアラブに対して東南アジア方面をさすという。だからこの場合には、南タイもインドネシアも両方がアラブからみれば同じ *Jawi* となる。だからメッカにいつている人が家に帰るときにはインドネシアに帰るときでもタイに帰るときでも *kelek* (帰る) *Jawi* という。ここでの対立項は、ジャウィ対アラブである。

さらに「*Masuk Jawi*」という使い方については、まさに男子の割礼のことをさすという。タイ語では *khau sunat* という説明してくれた。年齢はフレーザーの報告よりはやや若く、7歳くらいから遅くとも15歳までには行うという。一方「*masuk Melayu*」は、仏教徒が改宗してイスラームに入ることをさす。こうしたことから、なぜ書き言葉をさす *Jawi* が、イスラームにとっての大人になる儀礼であると見なされる割礼に「ジャウィに入る」と称して用いられるようになったのかを推測することはできるであろう。それは、つまりイスラームの勉強をしなくても許される子供の時代から、イスラームを書き言葉(ジャウィ)を用いて勉強しなくてはならないイスラームとして一人前になる過程への移行をさしているのだと。しかし、これは現在の意味からの憶測の一つにすぎない。今後は、その歴史的変遷を根気よく跡づけることが必要とされよう。

参考文献

Fraser, Thomas M.

1960 “Rusembilan:a Malay Fishing Village in Southern Thailand”, Ithaca, Cornell University Press.

1966 “Fishermen of South Thailand: the Malay villagers”, New York, Holt, Rinehart and Winston, Inc.

IV. 研究会記録

第16回研究会

日時：2003年1月26日（日）11:00-18:30

場所：上智大学四ツ谷キャンパス9号館354号室 出席者：15名

1. ジャウイ文書講読「ヒカム」（警句集）

テキスト提供者：東長靖（京都大学）

レジュメ作成担当者：西芳実（東京大学大学院）

13世紀中ごろ、アレキサンドリアで生まれたイブン・アター・アッラーが著わしたスーフィズムの思想書、「ヒカム」(警句集)マレー語(ジャウイ)訳(Kota Bharu, Kelantan: Pustaka Aman Press, 1983)、本文1-2ページのローマ字翻字、和訳を行った。テキストの内容はクルアーンの章句を引用しつつ、日常の道徳を述べたものである。ごくさわりの部分しか読むことができなかったが、講読会でイスラーム思想書を取り上げるのは初めてであり、このような思想書がどのような形式やことばで書かれているかを知る貴重な機会となった。〈川島緑〉

2. 南タイ、ソンクラのサムロン橋のタイ語、漢語、ジャウィ・マレー語碑文(1847)について

報告：黒田景子（鹿児島大学）
コメント：崎山理（滋賀県立大学）

マレー半島中部のタイ世界とマレー世界のはざまに位置する港市ソンクラのサムロン橋には、3つの言語とそれに対応する文字で書かれた碑文がある。本報告では、この碑文資料の紹介と、3つの碑文の比較が行われた。この石碑は橋の建設を記念して作られたものである。ソンクラは華人色が強い町で、当時の国主も華人であり、碑文には橋の建設に献金した多数の華人の名が記されている。タイ語碑文には、橋の開通祝いが、仏教の僧侶を招いてにぎやかに行われ、華人、タイ人、ケークも祝いに駆けつけた様子がいきいきと描かれている。ジャウィ・マレー語碑文については、架橋に寄付した人名リストの中に、タイ人、華人と並んで、インド人、アラブ人らしい名前も出てくる。ジャウィ・マレー語で書かれているが、その内容にはイスラームにかかわる要素はみられない。碑文が磨耗して読み取れない部分もあり、ジャウィ碑文の完全な訳はできていないということであったが、近代国家によって明確な国境線が設定される以前、マレー半島中部に存在した多民族共存状況を伝える貴重な資料である。

コメンテーターの崎山理氏は、東南アジア島嶼部の言語の専門家としての立場から、本報告へのコメントに限らず、ジャウィ資料や研究状況等についての知見を提供した。これらの中には、中国語で書かれたジャウィ表記タウスグ語の語彙集、マダガスカルソラベ（マダガスカルの言語のアラビア文字表記）に関する文献情報など、これまで研究会参加者が把握していなかったものが含まれている。ジャウィ綴りの時代、地域による差を検討する場合には、綴りのみでなく、音韻変化についても注意を払う必要があるという指摘もあった。〈川島緑〉

3. 東南アジア各地のジャウィ表記の比較検討

表作成担当者：奥島美夏（神田外語大学）

東南アジア史学会岡山大会のシンポジウムで配布したジャウィ表記対照表について、今後、どのような方針で地域・時代間の比較を行ったらよいかを議論した。カン・キョンスク氏のマレー語ジャウィ綴りの発展に関する著作を講読し、その知識を共有した上で、それぞれが専門とする地域・時代のマレー語ジャウィ資料の表記を比較することになった。〈川島緑〉

このニューズレターはジャウィ文書研究会の記録、および、ジャウィ文書研究に役立つ情報提供を目的としており、研究会出席者に会場で配布しています。研究会に出席できない方でこのニューズレターの入手を希望される方は、希望する号を明記し、あて先を記入し、240円切手を貼ったA-4サイズ返信用封筒を同封の上、お申し込みいただければ、郵送いたします。なお、研究工具や資料、文献の紹介、研究報告など、投稿を希望される方は、事務局にご連絡ください。

ジャウィ文書研究会ニューズレター 第11号

(2003年4月11日印刷)

2003年4月19日発行

上智大学アジア文化研究所 川島緑研究室

発行者：ジャウィ文書研究会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

電話：03-3238-3697 Fax：03-3238-3690

e-mail：midori-k@sophia.ac.jp

ウェブページ：<http://homepage3.nifty.com/tao/jawi-study/>

(2003年5月1日より、事務局は鹿児島大学多島圏研究センター青山亨研究室に移転します。)